

発行所
山形県立寒河江工業
高等学校 P T A
山形県寒河江市緑町148
電話 (86) 4278

第 73 号
平成29年3月3日



今年の
思い出



今年一年を振り返り



PTA会長

日塔 広幸

く調整して頂き、子供たちの成長を感じてみてはどうでしょうか。

今年一年を振り返るにあたり、先ずはこれまで様々な活動にご協力頂いた保護者の皆様をはじめ本校を外から支えて頂いた後援会の皆様そして学校の先生方に、心より感謝申し上げます。さて、今年一年を振り返ると四月のPTA総会から始まり、地区及び県高校総体の応援・寒河江神輿祭りへの参加協力・各地区毎のボランティア活動そして村山地区高校PTA研修会での発表と様々なイベント・行事がありました。特に、子供達と一緒に進行行事では普段家でも見せない顔を発見したりと十七・八年一緒に生活していても、今だに新しい発見があるものだと思わされることがありました。



各専門部より

今年を振り返り

総務部部長 奥山 圭一

あつと言つた一年で、PTA会長と副会長の協力の元、本年度の職務を無事過す事が出来ました。総務部はPTA活動全般の推進、育成部と文教部との連携しての事業を行っておりまして、一番大きな事業として、村山地区PTA研修会や県PTA研修会への参加です。他地区の会員との意見交換等、とても有意義な活動だと考えています。他校の風習や寒工の特色を、色々考える事の出来る会議だと思えます。

また、学校事務局との運営について、寒河江みこし祭りを進行、小雨の中大変盛り上がり伝説ある祭りの、多数の神輿団体の中、地元高校のチームとして、市民の皆様に大いに評価されたのではないかと思います。

最後に、ご指導頂きました先生方、学校関係者様、各専門部の皆様、そして全保護者様、一年間ありがとうございました。また、お会いしましょう！

今年度を振り返って

育成部部長 太田 康伸

今年度の生活部の活動として、校長先生や生徒会役員の皆さんと朝のあいさつ運動を行いました。最初は、遠慮がちに声をかけていたのですが、生徒の皆さんから大きな声で「おはようございます。」とあいさつを返してもらった。段々気分が良くなりいつのまにか私も大きな声を出している自分がいきました。あいさつは最高のコミュニケーションツールであるところを認識することが出来ました。また、九月十八日に行われた、寒河江まつり「みこし

三年間を振り返って

三学年主任 菊池 敏宏

間もなく高校生活が終わろうとしています。月並みですが、長いようで短い三年間でした。この間様々なことがありましたが、最後の一年にこれまでに学校生活の全てが凝縮されているように思います。全員が自己の進路目標達成という大きなハードルに挑み、約九割の生徒が第一希望に合格するという素晴らしい結果となりました。勿論生徒一人ひとりが不断の努力を積み重ね、保護者の皆様のご指導が

あったからこそだと思います。更には求人数が多く「売り手市場」だったという好条件にも恵まれ、様々な要因が重なった結果ではないかと思えます。

何れにせよ一人ひとりが悩みや不安と闘いながら自らの力で自らの将来を切り拓くことができた自信と誇りを大切に、これから同じように困難を乗り越え更に成長してほしいと期待しています。

最後にこれまでの保護者の皆様から頂いたご理解とご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

PTA新聞発行にあたり

文教部部長 飯沼 仁

PTA新聞、第七十三号の発行に際し、校長先生はじめPTA会長など多くの方よりご執筆を頂き感謝申し上げます。年末のお忙しい中、原稿のご依頼を申し上げ大変恐縮しております。お陰様で無事に発行することが出来ました。今回の編集を通して、学校は毎年同じ行事をしていても毎年違うドラマが生まれるというのを感じさせられました。先輩が卒業すればその次の学年が主体となり学校をけん引していきます。やはり、同じ行事であっても人が変わるとそこには、新しい様々なドラマが生まれます。寒河江工業高校という器や活動内容は変わらなくとも生徒達が変わる事で全く違う出来ごとのようになってしまふ。私達、親もそのことに一喜一憂してしまふ。そんなところが学校の良さであるところ、この作業をした後ではあります。多くの方にこの新聞が読まれる事を願います。

保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年度も残りわずかととなり、学校では一年のまとめの時期となりました。

三年生は高校での勉強の総仕上げとなる課題研究の発表を行い、創意工夫と高校で身に付けた技術を随所に盛り込んだ作品や研究を発表してくれました。

二年生は冬に力を蓄えるべく、真剣に旋盤に向かう姿や期待通り動くよう願いを込めながらはんだ付けをする姿が見られます。ものづくりを通して、技能や勤勉さを身につけ、社会人として自立していく生徒の姿を見ると人間を成長させてくれる工業教育の力を実感します。



生徒の成長を支えるPTA

校長 佐賀井 仁

地域の方

や企業の方に、寒河江工業高校の生徒はあいさつが素晴らしいと言われていることがよくあります。学校の指導だけでなく、PTAの方々からのあいさつ運動でのご協力や、ご家庭での教育の賜物であると思っております。このように様々な場面でPTAの皆様のご支援をいただくことが多く、生徒の成長にとって学校・家庭・地域の連携の重要性はますます高まっております。

この一年、特別活動では生徒たちは地域と連携した活動を通して、地域を思う心を育むとともに地域に活力を与えてくれました。「若草のみち」活動では、全校生徒参加で花の苗を植え、除草や清掃によって見違えるように学校周辺の歩道がきれいになりました。「みこしの祭典」では、最後まで若さあふれるみこしを披露して祭りを盛り上げてくれました。小さい時から工業に興味を持ってもらえるよう本校生が先生となつて、小学生にもものづくりの楽しさを

伝えるものづくり教室も行いました。学校行事では「寒工祭」で、工業高校にふさわしい展示やクラスの出し物に知恵を絞り、楽しい学校祭となりました。

そのような生徒の活動に対して、PTAの皆様からは、いつも温かいご協力をいただいております。「みこしの祭典」や「寒工祭」では、運営や展示を通して保護者の方から、生徒と一緒にやって行事に取組んでいただきました。また、地区PTAの活動では親子ボランティア活動などを通して、生徒は学校ではできない貴重な体験をすることができました。

総務部

平成二十八年度 学校評価アンケート

総務部部長 佐々木 裕章

会員の皆様からアンケートにご協力いただきありがとうございました。概要は次の通りです。

○データ比較等の観点から、前年度と同じ内容で実施した。

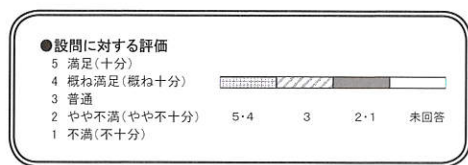
○回収率は、保護者が九〇・六％、職員が一〇〇％。

○昨年度、保護者からの評価が全体的に高くなり、今年度はほぼ横ばい。

○職員による評価は全体的に下がった。

○今年度も、②のポイントが高く、④が低かった。

今後、記述部分も含めて結果を分析し、来年度に活かしていきます。



①全体PTA関係(総会・レクリエーション等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	62	80	145	1	1	1	3.7	0
教員	1	16	15	1	0	0	3.5	▼0.1

②地区PTA関係(地区懇談会・ボランティア等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	71	94	118	4	3	0	3.8	0
教員	3	12	15	2	0	1	3.5	▼0.1

③学習指導(授業・定期考査・課題等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	53	96	127	11	1	2	3.7	0
教員	0	12	18	3	0	0	3.3	▼0.1

④おさんの家庭学習への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	40	52	121	58	19	0	3.1	0
教員	0	1	10	19	3	0	2.3	▼0.1

⑤生徒指導(身だしなみ・交通安全等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	69	77	132	9	1	2	3.7	0
教員	0	5	22	6	0	0	3.0	▼0.5

⑥部活動指導はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	76	72	121	15	4	2	3.7	0
教員	0	8	21	4	0	0	3.1	▼0.3

⑦進路指導(就職・進学・公務員等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	66	81	128	11	1	3	3.7	0
教員	0	18	15	0	0	0	3.5	▼0.1

⑧おさんの進路活動への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	52	69	139	22	6	2	3.5	0
教員	0	10	22	1	0	0	3.3	▼0.1

⑨保健活動(健康・安全・衛生等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	58	72	150	9	0	1	3.6	▼0.1
教員	1	9	21	2	0	0	3.3	▼0.4

⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	51	51	175	6	2	5	3.5	0
教員	0	12	17	4	0	0	3.2	▼0.5

⑪各科(資格取得・ものづくり等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	58	77	135	16	4	0	3.6	▼0.1
教員	2	19	11	1	0	0	3.7	0.0

⑫各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	62	88	133	4	2	1	3.7	0
教員	0	15	17	1	0	0	3.4	▼0.1

⑬学校からの様々な情報提供はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	56	79	130	18	6	1	3.6	△0.1
教員	0	9	22	2	0	0	3.2	0

⑭いじめの早期発見のための取り組みとその後の対応はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	60	72	138	8	5	7	3.6	0
教員	1	17	13	2	0	0	3.5	▼0.2

小学生と高校生の ものづくり教室

機械科 松田 浩明

平成二十八年十一月二十五日（金）の午後から、今年で第三回目となる、小学生と高校生のもので教室の出前授業を行いました。今年は寒河江市立南部小学校五年生のクラスにお邪魔しました。機械科三年生の全員が製作時の先生として小学生の手伝いを



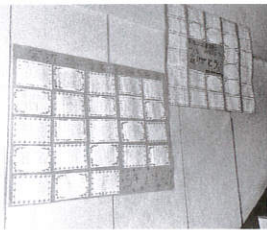
行いながら製作を進めていきます。作ったのは、ペットボトルカーとポンポン船です。それぞ

れ、作業行程が少なくなるように工夫していますが、はじめて使う道具や力が必要などころなどあるため、その都度高校生が先生となり、製作を手伝いながら作品を完成していきましました。高校生も普段は教えてもらう方ですが、この日は教える方となり、うまく説明するのに苦労していたようです。生徒の中には、手伝う時に立って説明するのではなく、同じ目線の高さで説明したりと個人個人で工夫しながら行っていました。例年、ものづくり教室を行った記念



に、本校機械科の加工技術を活かして製作した記念品を児童一人一人にプレゼンしています。今

年は、サンドブラストという方法を用い製作した南部小学校の校章が入ったガラスのペーパーウェイトを贈りました。最後に、高校生の中にはその小学校の卒業生であったり、違う学校であっても先生方の人事異動で小学生時の恩師に出会うことがあります。その時成長した姿を見せることもいい経験となるようです。今回は南部小学校の児童の皆さんからお礼の手紙なども頂きました。有意義な時間があったとうございませう。



皆さんの協力により

生徒指導部長 菅谷 明浩

平成二十八年度も、皆様のご協力により多くの行事を生徒中心に、成功のうちに終えることができました。六月に行われた「若草の道」沿道の除草・植栽ボランティア活動では、町内会、中央工業団地の皆様、全校生徒・全職員が交流しながら活動し、私たちにとって大変貴重な時間となりました。九月の寒河江祭り「みこしの祭典」では、生徒会・みこし委員会を中心に、保護者・職員を合わせ約二五〇名で参加し、本校のチームワークを発表する良い機会となりました。十月には秋晴れの中「寒工祭」が行われ、一般公開日には、各種イベントのほか、

保健部より

養護教諭 東海林諭子

子どもを取り巻く健康問題は、年々多様化し、また深刻なものが増えています。中でも近年、大人たちが認識している以上に、『性』に関する問題の低年齢化・多様化・深刻化が顕著になってきています。

例えば、梅毒等の性感染症の増加、性犯罪への関与、交際相手間のDV、望まない妊娠や出産等々どれも我が子とは決して無縁のものではありません。

本校では、卒業すると即社

左沢高校からも果樹・野菜の販売協力もあり、大いに賑わいました。各種行事は、生徒にとって、その一つ一つが思い深く、良い体験になったことと思います。さらに本校発展のために今後も学校行事に力を入れて参りたいと考えております。



会人として活躍する生徒たちが多くことから、主に生命尊重・人権・育児体験を含む家族計画についての学習を通して、これらの問題について『自分ならどうするか』『どんなふうに問題を解決したらよいのか』という視点を持って包括的に考えられるように指導してきました。

指導が全てすぐに活きてくるわけでは決してありませんが、生徒たちがこれからの長い人生を、主体的に・よりよく・正しく・責任を持って選択し歩んでいけるように、今後も指導のあり方を研究したと思います。

充実した三年間

前生徒会長 佐藤 哲也



私が、寒河江工業高校に入学して、もう三年が経とうとしています。この三年間は、勉強に部活動そして生徒会と忙しかったが、とても充実した学校生活だったと思います。

その学校生活の中で、私自身を変えることができたのは、生徒会長として人前に立ち、各行事の企画・運営をする側を体験したからだと思います。私は、生徒会長になる前、人前に立つて話すということが苦手な性格でした。しかし、生徒会長になってからは、人前で話す機会が増えたため、今では、大勢の人前でもスムーズに話せるようになりました。

また、私は、公約としていた「地域に根ざした工業高校」とするため、生徒会を中心に地域のボランティアに参加してきました。ボランティアを通して、幅広い年齢層の方々と触れ合うことで、人の温かみや心のつながりを感じることができました。

この一年間、貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

我がまちのトピックス

親子ボランティア活動

寒河江南地区会長 吉見 芳晴

今年度の寒河江南地区PTAは、八月七日(日)に恒例の特別養護老人ホーム「長生園」の清掃活動を行いました。総勢七十二名の参加となりました。

各班に分かれて窓の清掃、車椅子の清掃を行いました。親子共に汗を拭きながらの活動になりました。短時間ではありましたが窓も車椅子もピカピカになったのを見て、仕事をやり遂げる充実感を得る事ができました。

子供が高校生ともなると、親子で活動することなど少なくななり、協力して一つの事を成し遂げるなど貴重な体験ができました。



今後とも、諸先輩方が築いてきた奉仕活動を継続し、子供達が地域社会に貢献寄与していくようになつてほしいと思います。暑い中参加して頂いた皆様ご苦労さまでした。

天童地区会長 櫻井 仁志

毎年恒例となつている、親子ボランティア活動は八月二

十日午前六時から、総勢二十八名の参加者により天童公園(舞鶴山)のゴミ拾いを一時間程行いました。



舞鶴山は、まさに天童のシンボルであり、四月には全国的にも有名な人間将棋が開催される場所でもあります。山頂の展望台からは月山や朝日連峰、最上川一望することが出来ます。また、バーベキュー広場の利用者も多く、市民に大変親しまれている公園です。

今回の活動で、二袋のゴミを回収することができました。タバコの吸い殻、ゴミ、空き缶等のゴミの多さに、改めてマナー、モラルについて考えさせられました。

しかし、その一方で達成感を得ることができたと思えます。

「ボランティアとは、大変なことではなくやりがいと達成感を共有出来る、楽しいことなんだ」と感じる事ができたと思います。人との交流つなぐりの大切さを感じたのではないのでしょうか。

これからも、自分自身のため地域貢献のためにも、ボランティア活動を継続していきたいものです。

この二年を振り返り

二年主任 松田 浩明

「高校二年生という時期は、中だるみの時期である」と言われます。一年生の時の緊張感が無くなり、高校生活に慣れ「これぐらい」という気持ちが生活の中で見られるからそう言われるのでしょうか。

「二年生という時期は、高校でしか経験できないことが多くあります」七月のインターシップ、十一月の修学旅行、生徒会の役員等いずれも一・三年生では経験できないことです。

「二年生という時期は、ある程度自分の進路を考え始めなければならぬ時期です」高校入試と違い、三年生に進級すると同時に自分の進路を具体的に考え相談しなければなりません。学年の後半にはその準備がはじまります。

この様に「二年生の時期」というものは高校生活の中でも特別な行事やイベントがあり、その中で生徒自身を大きく

く成長させてくれる時期でもあり、保護者の方からの多くのご協力を得ながら進んできた大切な時期だと感じています。この中でも修学旅行は大きなイベントであり、今回の三泊四日の中に多くの思い出を作る事ができたのではないかと思います。

旅行中、空港での荷物の受け取りにトラブルがあり、時間的な余裕が無くなつてしまったこと。生徒の班別研修日に雨が降り出してきてしまったことが悔やまれるところですが、それ以外は大きなトラブルも無く、無事に帰校できた旅行でした。これも「いざという時」に自分がどの様に行動しなければならぬのか状況判断能力が成長してきている証しだと感じました。社会人としてみれば、まだ力不足という面は多く、三年時に自己実現が達成できるのか不安な面もありますが、保護者の方と協力しながら生徒自身の目標達成に向かっていければと考えています。

生徒会長として

新生徒会長 惣田健太郎



このたび前期生徒会を引き継ぎ、生徒会長に就任した二年電子機械科の惣田健太郎です。私は、前期生徒会では生徒会に入っておらず、このたび初めての活動となります。初めてという不安と学校をより良いものにしていくという意思の両方がありますが、精一杯努力をしていき、より良い学校を作っていきたいと思っています。

私は、これから生徒会活動を行っていくにあたり、特に頑張っていきたいことがあります。それは地域の方々との行事を盛んに行っていくという事です。地域に根ざす学校、ということと神輿の祭典への参加や、若草の道植栽活動への参加などがありますが、その活動をより活発に行うと同時に、ボランティア活動を増やし地域の方々と活動していきたいと思います。

この事を頑張っていきたいと思いますのでよろしく願います。



機械科



電子機械科



情報技術科

今年を振り返り

野球部顧問 桃園 達也

寒河江工業高校野球部は三年生十四名、二年生十名、一年生十二名在籍しています。今年度の夏大会が終わり三年生は引退しましたが、新チームは三年生の想いをつなげるために、秋の新人戦で県大会出場を目標に掲げ日々の練習に励んできました。本番の秋季地区予選では一次、二次とも敗退し、三次予選が県大会へ出場する最後のチャンスとなりました。一回戦は山形電波工業高校、代表決定戦では天童高校から勝利し、引退した三年生に誓った県大会出場を決めることができました。本校が秋季県大会出場す



進路指導部より

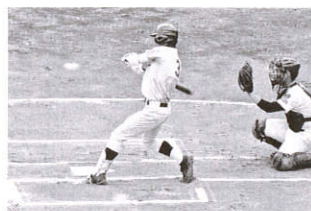
進路指導部部長 遠藤 文子

進路希望を実現させた三年生の皆さん、進路達成おめでとうございます。皆さんのこれまでの努力に拍手を送るとともに、これからの活躍を大いに期待しています。

今年度の進路状況を報告します。三年八月当初の進路志望状況は、六割強が就職、四割弱が進学希望でした。就職希望のほとんどの人が自宅から通勤できる企業を希望し、結果、内定割合もほぼ同じと

目標を目指して

陸上部顧問 奥山 靖春



四月、赴任して行ったのが記録確認です。陸上は記録の世界、目標設定のためにも必要な情報です。来年、天童で陸上のインターハイがありそうですが、出場するには予選がありトラックで何分何秒、フィールドで何cmと数値目標を設定できます。目標値が決まればあとはその記録にどうやって

なっています。公務員関係は五名が希望、来年度から公務員の道を歩む人は二名です。進路については、九割の生徒が推薦入試・AOで受験し、四年制大学合格八名、県立産業技術短期大学校への合格十二名など、なっています。求人数は昨年度と同程度でした。特筆すべきは就職第一志望での合格率が九〇・〇%と大変良く、これまでにない合格率だったことです。不合格の理由としては例年と同様にコミュニケーション能力・基礎学力不足でした。

近づいていくかです。しかし、記録更新は毎日少しずつ、日々の練習に優るものはありません。今年は、これまで県大会に出場したことなかった安達周弘君が、秋の新人で県はもちろん東北新人大会まで出場したのは、目標記録を目指し毎日練習を続けることができた結果だと思っています。ぜひ来年、安達君に続く選手が出てくれるよう日々の練習に励みたいと思います。

メカトロアイディアコンテスト優勝・全国大会出場

メカトロ担当 佐々木裕章



アイディアと技術を駆使して自作したロボットで競い合う「メカトロアイディアコンテスト」では、リモコン型ロボットの第一志望合格率は八七・八%(昨年度九三・六%)でした。学生数減等により入試方法も多様化し、希望者にとっては希望の叶いやすい状況となっていますが、人気のある進学先は依然として難易度が高く、ある一定の学力を必要とするようです。

今年度も多くの方々を支えられ、進学・就職のいずれにおいても、三年生の頑張りが表れた進路活動、内定状況となりました。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

ポットで輪島塗のお盆や箸入れなどの民芸品を金沢城に見立てた棚の上に運んだり、北陸新幹線に見立てた自立型ロボットの塩ビパイプのレール上を走るものでした。



この難問に課題研究班と工業研究部で編成した二チームが挑戦しました。生徒達は夏休みも登校して、試作と実験を繰り返しながらロボットを組み上げていきました。九月に開催された県大会では、「寒業百万石」が優勝！十一月に石川県で開催された全国高校ロボット競技大会では、予選四チーム中二位のため、準決勝に進むことはできませんでしたが、全国大会の技術の高さやものづくりにかける情熱を感じてきました。



一学年を振り返って

一学年主任 木村 雅善

四月八日の入学式から十カ月が過ぎ、間もなく二年生に進級する年となりました。昨年の今頃は、受験に向けて必死に学習に取り組んでいた時期かと思えます。様々な場面において、その時は長いと感じても振り返ると時間の経過は早いものです。

入学後、人間関係の構築を目指し、一学年でグループエスカウンターを実施し、寒河江工業高校生としての意識づけと仲間作りを実施しました。また、中学までの学習の復習をした一学期から、徐々に難しい学習へと進む中で、個人の取り組み姿勢によって徐々に差が表れている現状が見受けられます。

二年生という学年は進路を決定していく上で重要な学年だと言えます。目標を定め、その目標達成のためには何が必要なのかを見極め、努力していく事が要求される学年だからです。目標の有無と個人の姿勢は結果として差が出ます。自分の生活を振り返った際に、「頑張った一年だった」と思えるよう充実した高校生活を送って欲しいと願っています。

